

# かんしょの基腐病とつる割病に

# ベンレート®水和剤

基腐病に  
適用拡大



®は住友化学の登録商標です 農林水産省登録 第20889号



基腐病



被害圃場



つる割病



被害圃場

2018年12月に鹿児島県、2019年1月に宮崎県で確認された新病害。  
病原菌：糸状菌 (*Phomopsis destruens*)  
被害状況：はじめ、地際部の茎及び茎に近い塊根部分が黒色～暗褐色に腐敗。被害が進行すると、茎の上部及び塊根全体に腐敗が広がり、乾燥して硬くなり、やがて株が枯死。

病原菌：糸状菌(主に *Fusarium oxysporum*)  
被害状況：植え付けて間もない活着期から発生し、枯れて欠株となる。掘り取り期まで発生。葉は黄色みを帯び生気がなくなり、黒ずんで紫褐色になる。株のつるの地際部は、縦に大きく裂け、茎の繊維が目立ち、典型的なつる割れ症状となる。

## 登録内容 (かんしょ/植付前/苗基部浸漬を抜粋)

2021年2月現在の登録内容

作物名	適用病害名	希釈倍数	使用液量	使用時期	使用方法	本剤およびベノミルを含む農薬の総使用回数
かんしょ	基腐病	500～1000倍	—	植付前	30分間 苗基部浸漬	1回
	つる割病 黒斑病				20～30分間 苗基部浸漬	

**ベンレート水和剤の  
30分間苗基部浸漬で、  
かんしょ基腐病、つる割病の  
防除が可能です!!**

上手な使い方は  
裏面へ!



# 基腐病・つる割病対策



## 感染経路

- ① 罹病種いも
- ② 土壌
- ③ 採苗作業時のハサミ等を介して伝染する。

## 防除対策のチェック

### ① 基腐病・つる割病に感染していない苗の生産

▶ 発病が見られた圃場の芋は、種いもに用いない。

### ② 定植前の苗消毒

▶ ベンレート水和剤500倍液に30分間苗基部浸漬を行う。



### ③ 圃場対策

- ▶ 発病の見られた圃場では連作しない。  
(イネ科牧草との輪作等で土壌菌密度を抑える)
- ▶ 圃場内に水が溜まらないよう排水対策を十分に行う。

●使用前にはラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。  
●小児の手の届くところには置かないでください。 ●空袋・空容器は圃場等に放置せず適切に処理してください。

## 上手な使い方

### ベンレート水和剤による苗消毒



#### 【使用例】

- ▶ 約100本を採苗したら、消毒液の入ったバケツに苗基部がしっかり浸かる様に浸漬する。
- ▶ 苗100本に使用する消毒液は、15Lバケツに3L程度。
- ▶ 次の100本を採苗する間、30分間浸漬し、切り口をきちんと消毒する。

- ◆ 採苗後は、速やかに苗消毒を行ってください。
- ◆ 菌消毒に使用する器材の消毒もお願いします。



### ベンレート水和剤の使用におけるポイント

- ① 消毒液は、ベンレート水和剤500倍液がおすすめです。
- ② 30分間浸漬を行ってください。(浸漬時間を守ってください!)
- ③ 作成したベンレート水和剤液は当日中に必ず使い切ってください。

基腐病の被害状況、上手な使い方:

「鹿児島県 鹿児島県さつまいも・でん粉対策協議会 鹿児島県園芸振興協議会」資料から引用

2021年2月作成

03R2B21B121:PC

大地のめぐみ、まっすぐ人へ  
SCG GROUP

住友化学

〒104-8260 東京都中央区新川1丁目27番1号

お客様相談室 ☎ 0570-058-669

農業支援サイト 農力 <https://www.i-nouryoku.com>

